

「バーコードからRFID(電子タグ)へ」

1970年代、アメリカで開発された1次元バーコードは、2次元バーコードと共に世界の自動認識業界の中で広く活用されてきました。その後離れた場所から複数読取の出来るRFIDが登場し、バーコードからRFIDへの変化が期待される中、アパレル業界で使い捨て電子タグが実用化されました。更に「コンビニ電子タグ1000億枚宣言」が出され、日本に於ける新しいうねりが起きています。

本セミナーはこの流れを受けてRFIDの現状と将来を展望する企画としました。企業、学生、大学関係者各位のご参加をお待ち致しております。

●日時: 2018年8月27日(月)

●場所: 電気通信大学 創立80周年記念会館
3階フォーラム

資料代及び飲み物代: 3,000円

/事業協力会員・学内教職員・学生は無料

申込み: 本センターのホームページから申込みフォームで
ご登録ください

<http://www.crc.uec.ac.jp/pickup/seminar/114.html>

アクセス: <http://www.uec.ac.jp/about/profile/access/>

企画: 電気通信大学 産学官連携センター 客員教授 志村 則彰

プログラム

- 14:00~14:05 開会挨拶 産学官連携センター長 田村 元紀
- 14:05~14:30 「バーコードからRFIDへ」 株式会社B-STORM
代表取締役会長 志村 則彰 氏
- ~RFID活用事例~
- 14:30~15:00 「RFID導入事例のご紹介」 東機通商株式会社 取締役 佐藤 純郎 氏
- 15:00~15:30 「RFIDの制服管理への応用」
株式会社フリーダムランド CTO 藤広 哲也 氏
- <休憩>
- 15:40~16:10 「コンビニ電子タグ1000億枚宣言」
経済産業省 商務情報政策局 商務・サービスグループ
消費・流通政策課 課長補佐(企業・調査) 田村 真丈 氏
係長 加藤 彰二 氏
- 16:10~16:40 「RFIDの活用と現状」 一般社団法人自動認識システム協会
研究開発センター 中畑 寛 氏
- <休憩>
- 16:50~17:00 質疑応答
- 17:00~17:05 閉会挨拶 産学官連携センター 客員教授 志村 則彰

主催: 電気通信大学 産学官連携センター 共催: 電気通信大学産学官連携センター事業協力会 後援: 一般社団法人目黒会(電気通信大学同窓会)